

検証声明書

ツネイシホールディングス株式会社及びグループ会社 28 社

検証業務の一般事項

この検証声明書は、ツネイシホールディングス株式会社及びグループ会社 28 社に対して発行されるものである。

一般財団法人日本海事協会(本部所在地：東京都千代田区紀尾井町4番7号、以下「当会」という)は、ツネイシホールディングス株式会社(本社所在地：広島県福山市沼隈町常石1083番地、以下「申請者」という)より、2019年～2022年(2019年1月1日～2022年12月31日)の紙と水の使用に関する環境データ報告書(以下「環境データ報告書」という)の検証業務を委嘱された。

検証業務の範囲は、申請者の本社及び経営支配力の及ぶ以下のグループ会社を対象とした。

常石造船株式会社	TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU), Inc.
常石集団(舟山)造船有限公司	常石鉄工株式会社
TSUNETETSU (CEBU), INC.	常石(舟山)鉄工有限公司
常石商事株式会社	常石エンジニアリング株式会社
株式会社三保造船所	神田ドック株式会社
三井E&S造船株式会社	新潟造船株式会社
由良ドック株式会社	ツネイシクラフト&ファシリティーズ株式会社
神原汽船株式会社	神原汽船(中国)船務有限公司
上海神原国際貨運代理有限公司	神原ロジスティクス株式会社
神原タグマリンサービス株式会社	ツネイシカムテックス株式会社
東広商事株式会社	株式会社サニー・クリエーション・プランニング
株式会社アースクリエイト	双葉三共株式会社
ツネイシカムテックス陸運株式会社	ツネイシCバリューズ株式会社
ツネイシLR株式会社	株式会社せとうちクルーズ
ツネイシホールディングス株式会社	

適用規格・基準

- ① GRI Standards
- ② 保証業務に関する国際基準 3000 (ISAE 3000) (改訂版)
- ③ 紙と水使用量算定業務手順書(ツネイシホールディングス株式会社)
(定量化手法)
- ④ GRI 3(マテリアルな項目)、GRI 301(原材料)及びGRI 303(水と排水)

環境データの管理責任

申請者は、環境データ報告書を作成し、開示されたデータ及び情報管理の効果的な内部統制の維持に対して責任を有する。また、当会の責任は、申請者との契約に従い、環境データ報告書に関する検証業務を実施することである。環境データ報告書は最終的に申請者に承認され、引き続き申請者の責任の下にある。

検証手続

当会による検証は、国際的な基準である「GRI Standards」及び「ISAE 3000(改訂)」に従って実施され、申請者の算定業務が適切なモニタリング及び計算により、正しく定量化されていることを確認した。

結論を得るために、検証業務はサンプリング手法を用いて、以下のプロセスを経て実施された。

- ① 申請者の本社及びグループ会社への訪問
- ② 水、紙の使用量、情報管理プロセス及び環境データ報告書作成に関する責任者へのインタビュー
- ③ 環境データ報告書に記載された情報に関し、サイト訪問で得られた情報ソースと申請者集計結果との整合性の検証
- ④ 環境データ管理システムのレビュー
- ⑤ データ入力時の QA/QC 体制とダブルチェック体制の確認

保証水準

この検証声明書で表明された検証意見の保証水準は、限定的保証水準とし、重要性の閾値は検証員による専門的判断に基づいている。

検証意見

〈無限定適正意見〉

当会による検証業務の結果、環境データ報告書が、適用される基準及び選択された定量化手法に関して、重要な点において正しくないことを示す事実は認められなかった。なお、当会と申請者の間において利害相反は無い。

改善推奨事項

申請者及び申請者が所属する常石グループとして、今後、次の取り組みを進める事が望まれます。

- ・ 開示する環境データについて、ステークホルダーと協議し、重要な算定対象について年度ごとに見直し、組織がより一層持続可能な発展を目指すことが望まれます。

水、紙の使用量の要約

検証対象	2019年	2020年	2021年	2022年
水使用量 合計	1,671,617 m ³	1,485,452 m ³	1,483,729 m ³	1,653,252 m ³
紙使用量 (A4 換算)	29,955,899 枚	25,308,083 枚	24,651,772 枚	22,559,637 枚

2023年11月10日

一般財団法人 日本海事協会
認証部 主任検証員

小岩敏郎

小岩 敏郎

一般財団法人 日本海事協会
事業開発本部長

山口欣弥

山口 欣弥

